



あけまして  
おめでどうござい  
ます

当会は一昨年に活動10年という大きな節目を迎え、昨年からは新しい一年目をスタートさせました。とはいえ自然には目にみえるような大きな変化はありません。これからは私たちの活動を、地道に年々積み重ねていきたいと思ひます。

さて、昨年も、過去最多の児童、保護者が「なな山」を訪れて里山の自然を満喫してくれました。今年もこれらの活動に大いに協力していきたいと思ひます。

また、昨秋から、市の要請で管理地の国勢調査にあたる樹木総量調査（どんな種類の樹木がどの地域に何本あるかの調査）を始めています。今までの活動によって「なな山」には、

約80種類前後の樹木があるのは、わかっていましたが、それぞれが何本あるのかは想像もつきません。2～3000本いや、5000本はあるのではないかと予想を楽しんでいます。会員の我々にとっても、それぞれのエリアにどんな木が何本あるかを知ることによって、今後の管理（間伐採、萌芽更新等）に大いに役立つものと思ひています。今年も、事故、怪我のない楽しい活動をしていきたいと思ひます。みなさまの暖かい、ご支援とご理解をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

2015年1月 なな山緑地の会会長 高木直樹



マツ、マンリョウ、  
トウネズミモチ  
めかい制作：相田幸一

## エコメッセ府中、南鶴牧小学校のみなさんがなな山にやってきました。

11月24日(月)10:00~12:00

### エコメッセ府中

エコメッセ府中の皆さん6名・児童2名、幼児1名と、南鶴巻小学校の児童と先生他30名程がやって来ました。児童の中には2度目3度目の子どもたちも沢山いて嬉しい限りです。天気に恵まれ、エコメッセの児童が工作を始めていると鶴巻小の児童が到着し、全員が揃ったところで朝礼を行い、なな山散策が開始されました。どんぐり拾い、お手製ブランコとターザンロープ、ハシゴを使っての木登りは順番待ちの状態でした。原木栽培のナメコ観察は子どもたちにとって貴重な体験になったと思ひます。時間のたつのは早いもので、美味しいお弁当を食べ、解散。なな山の自然を満喫し、本日の山遊びは大成功でした。なな山の皆さん、昨日今日とお疲れさまでした。(住崎)



ホウの葉のお面



ハシゴ昇りで小さな冒険

### 南鶴牧小学校

秋深まるなな山に、南鶴牧小学校の子どもたちが訪れました。参加者は生徒28名、保護者2名、先生3名+小川副校長先生と5年生の息子さんでした。

前は青々とした葉が子どもたちを優しく包むようにしていた山も、黄色や赤に染まり、装い新たにお出迎えです。観察の途中、子どもたちが土を指差しました。土がまるで生きているかのように動いています。小さな幼虫が100匹ほどいます。正体は…ミールワーム!! (ゴミムシダマシ科の甲虫の幼虫の総称で、動物の餌になります) 植物、樹木、シイタケやナメコを観察し、山遊びです!

ターザンロープ、ハシゴ昇り、ブランコ、先生がサポートをしてくれたこともあり、初めはドキドキしていた子も、時間が足りないばかりに、夢中になって遊んでいました。笑顔で帰っていく姿に喜びを感じました。(高澤)



落ちてくるどんぐりの解説を聞く



お弁当タイム

## 今年も 100 人を超える参加 「なな山で遊ぼう 2014」

多摩第二小学校おやじの会幹事 蓮池 智志



12月7日（日）朝9時30分、二小の子どもたち90名、幼児10名、保護者、二小の先生合わせて約50名、合わせて約150名が、晴天に恵まれる中、なな山緑地に集まりました。

毎年恒例の「なな山で遊ぼう」は、

今年で早10年目になります。始まった当初は本当に少人数でしたが、毎年参加する子どもたちが増加して今年も100名を超える参加がありました。

なな山では木工細工や丸太切り体験、ターザンロープ

やブランコ、落ち葉の斜面でのソリ遊び、木登り、カブトムシの幼虫獲りなど、人気の遊びがたくさんできます。

ターザンロープなどでは先生も保護者も子どもたちと一緒に楽しまれていました。雑木林の中を走り回っ



好評ターザンロープ

たり、拾ってきた枯れ木でチャンバラごっこしたり、弓矢を作ってみたり、子どもたちが自然の物を利用して遊んでいるのを見て、昔を思い出していた保護者もいたのではないのでしょうか。普段なかなかできない遊び、自然を体験できることが、なな山の魅力であり、子どもたちの目が輝いて生き生きとしているのがわかります。

お昼休みにはPTCAの役員さんが「けんちん汁」を作り、おやじの会OBから今年は「バームクーヘン」が提供されました。「けんちん汁」をお替わりしている子どもたちも多く、野外でとる

食事を満足できたのではないかと思います。あっという間に時間が過ぎた一日でした。この「なな山で

遊ぼう」の企画は、もっと多くの子どもたちに体験してもらいたいと思っています。

最後に、いつもご協力を頂いている「なな山緑地の会」の皆様、校長先生を始め参加を頂いた二小の先生方、PTCA、おやじの会とOBのみなさん、お疲れさまでした。準備も含め、ありがとうございました。

また、来年もよろしくお願ひします。



最後に集合写真を撮りました



いろいろなものが作れる木工細工



# なな山日記 (活動・観察記録)

<p>No. 251 2014年8月24日(日) 晴れ/曇り 気温 30℃ 参加者 14人 なな山マークのシール完成、ヘルメットに貼る。朝倉さん入会。 ●作業/観察農園の草取り。広場、法面、作業道、道路沿いの草刈り、清掃。林野庁の交付金の適用区域明示のための杭打ち。チェーンソーの目立て講習。 ●観察/新種イケマ発見。ダイミョウセセリチョウを観察。</p> 	<p>No. 252 2014年9月14日(日) 晴れ 気温 26℃ 参加者 20人 セミがミンミンと鳴き、夏の終わりを惜しむかのよう。 ●作業/観察農園の草取り、モロヘイヤ、落花生収穫、ダイコン種まき。スギの皮むき。枝拾い。中の山通路と法面草刈り。 ●観察/クサギに実がつき、ヤマホトトギスの花が咲いていた。タマゴダケはじめ何種類ものキノコが生えていた。</p> 
<p>No. 253 2014年9月28日(日) 晴れ 気温 26℃ 参加者 16人 好天に恵まれ、健やかな活動日。 ●作業/林野庁交付金の適用区域明示のための杭打ち。道路沿いの清掃。中の山の枯れたアカマツ2本伐倒の準備。 ●観察/ヤマガラ、ウラギンシジミ(蝶)を見かける。クモがいたところに巣を張っていた。ヒガンバナが咲き、キバナアキギリの花が群落となっていた。ホオズキの実が赤くなっていた。</p>	<p>No. 254 2014年10月12日(日) 曇り 気温 19℃ 参加者 19人 「なな山だより32号」配布。大木の伐倒作業。 ●作業/ダイコン間引き。リース用クズの蔓集め。通行の邪魔となっていた道路沿いの枝除去。法面のタブノキ枝落とし。中の山のアカマツ2本伐倒。植物の名札作り。植物養生。 ●観察/枝もたわわなクヌギとコナラのどんぐりを見つける。キチジョウソウ、トネアザミ、オケラの花が咲いていた。</p>
<p>No. 255 2014年10月26日(日) 晴れ 気温 23℃ 参加者 14人 活動日和をそれぞれに楽しむ。シイタケ豊作。 ●作業/シイタケ収穫、ほだ木補修。広場草刈り。観察農園へ堆肥運び込み。中の山の道とソダ置場の補修。テーブル補修用のスギ板を二つ割りにして鉋をかける。 ●観察/カキの実が色づいていた。ススキ、ムラサキカタバミが咲いていた。</p>	<p>No. 256 2014年11月9日(日) 雨/曇り 気温 15℃ 参加者 14人 「なな山の植物」第4弾完成。サツマイモ試食。宮崎さん入会。 ●作業/サツマイモ収穫。観察農園へ堆肥の運び込み。ログミル、チェーンソーの目立て。</p> 
<p>No. 257 2014年11月23日(日) 晴れ 気温 15℃ 参加者 20人 多摩市依頼の樹木総量調査始まる。サトイモ大豊作。 ●作業/樹木調査。サトイモ、ナメコ収穫。観察農園へ堆肥の運び込み。広場清掃。法面草刈り。イス修理。南鶴牧小学校なな山訪問の準備。</p> 	<p>No. 258 2014年12月14日(日) 晴れ 気温 4.8℃ 参加者 21人 寒い一日。小田島さん入会。ダイコンとナメコのお土産。 ●作業/樹木調査。法面の草刈り。道路沿いの落葉清掃。ソダ置場の整理。落枝拾い。ナメコ収穫。チェーンソー修理。</p> 
<p><b>なな山で行われたイベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月11日(土) グリーンボランティア連絡会主催「多摩のめいかいづくり講座」第二回 シノダケ採取とヒネづくり開催。</li> <li>・11月6日(木) 国分寺市「もとまち里山クラブ」なな山を見学。</li> <li>・11月18日(火)、12月2日(火)、12月16日(火) めいかいクラブ、多摩めかいの会の活動。</li> <li>・11月24日(月) エコメッセ府中、南鶴牧小学校なな山を訪問。</li> <li>・12月7日(日) 多摩第二小学校おやじの会主催「なな山で遊ぼう2014」開催。</li> </ul>	<p><b>なな山だより 第33号 2015年1月11日発行</b></p> <p>発行 なな山緑地の会 発行責任者 高木直樹 住所 多摩市和田 1394-13 ホームページ <a href="http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/">http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/</a> 編集委員 鎌田文雄 中原君代</p>